

千代田橋消防団

【千種区】

【消防団長】

安江行廣（団員歴三十六年）三代目団長



千代田橋消防団は昭和五十九年に創立しました。千代田橋学区は、千種区の北東に位置し、管内人口は約八千五百人、世帯数は約三千六百七十世帯です。管内には、一級河川の矢田川・香流川があり、ゲリラ豪雨の発生に備え、氾濫を常に警戒しています。しかし春には堤防沿いに桜の花でいっぱいになり、とても美しい学区です。管内は主に住宅地ですが、一部狭隘地区もあり重点的に巡視を行っています。

【消防団活動】

管内には河川が二本あるため、近隣の宮根消防団と共にゴムボートを所有しています。矢田川河川敷では、二団合同で物資搬送訓練を行っています。また、香流川河川敷では、川の水を利用し可搬式ポンプで吸水と放水訓練を適時行っています。地域の住民へは初期消火訓練、AEDを使用した応急手当講習を行っています。

【団員紹介】

●副団長 小川亮（団員歴十一年）

応急手当普及員
人望が有りリーダー的な存在



●部長 村本一義（団員歴三十年）

自主防災マイスター
自主防災知識・技術に関しては、当消防団内では右に出るものはいない。



●班長 亀井明子（団員歴九年）

応急手当普及員
明るく、訓練活動も積極的に参加し、笑顔が絶えないムードメーカー的存在



●団員 中根健佑（団員歴九年）

応急手当普及員 救急救命士 看護師
医療知識・技術に関しては、当消防団内では右に出るものはいない。



二団合同物資搬送訓



初期消火訓練



河川敷放水訓練



応急手当講習

